



Vitreoretinal Surgery Latest 網膜硝子体手術

硝子体手術



網膜硝子体手術は大きく 3 つに分けられます。1. レーザー光凝固術【レーザー照射・外来で行います】2. 強膜バックル(強膜内陥)術【眼球を切開せず眼球の外側から治療する網膜剥離の手術法】3. 硝子体手術【眼球の内側から治療する】の 3 つです。

硝子体は眼球の中心にあるゼリー状の組織です。加齢や疾患によって生じて混濁した硝子体や増殖した網膜硝子体の組織、貯留した血液や病原菌を除去する手術が **硝子体手術** です。同時に網膜に起こった疾患にも治療を加えます。光軸部の混濁を除去し透明にすること、硝子体を切除し疾患が進行するのを防ぐこと、網膜への牽引を除去することなど、手術によって疾患に応じた目的と効果があります。

当院の硝子体手術は、局所麻酔下、しろめの部分に小さな穴(0.4 ミリ)を 3 カ所あけ、27 ゲージの細い器具を眼内に挿入し眼内の出血や濁りを取り除きます。硝子体の手術装置は高性能な硝子体カッター(7,500~10,000 回転/分)(写真)を 2 台備え、手術顕微鏡には広角眼底観察システムを設置しており、安全性の高い手術をめざしております。切開創を短時間で作成でき創口が 0.4 ミリと白内障手術よりも小さいため、殆どの症例では無縫合で手術を終えることができます。結果、術後の異物感や不快感が大幅に軽減、回復も早くなり、日帰りから数日の入院で施行しております。



硝子体カッター・コンステレーション

硝子体手術によって視力改善が期待できる疾患：黄斑上膜、黄斑円孔、黄斑浮腫、糖尿病網膜症、硝子体出血、網膜剥離、増殖性硝子体網膜症、網膜中心静脈閉塞症、網膜静脈分岐閉塞症、網膜下出血、硝子体混濁などがあります。

学術学会参加報告

ESCRS(ヨーロッパ白内障屈折矯正手術学会) 2019年9月 フランス・パリにて



2019年最優秀ビデオ作品の発表会場
世界各国の審査員(眼科医)達と(右から2番目・院長)



悠太郎先生の講演(フェムトセカンドレーザー白内障手術)

APACRS(アジア太平洋白内障屈折矯正手術学会) 2019年10月 日本・京都にて



シンポジウムでの悠太郎先生の講演
(世界各国のエキスパートの眼科医達と)

特殊外来・専門外来のご案内

●老視/屈折矯正外来(多焦点 IOL・フェイク IOL・オルソケラトロジー) ●角膜外来(角膜疾患全般・角膜移植(PKP/DSAEK/DALK)・羊膜移植・角膜クロスリンク) ●ドライアイ外来 ●ブドウ膜外来 ●涙道外来(チュービング・DCR) ●網膜硝子体外来(メディカルレチナ・サージカルレチナ) ●緑内障外来 ●セカンドオピニオン外来 ●小児外来(斜弱外来) ●ロービジョン外来

無料説明会のご案内

●フェムトセカンドレーザー白内障手術 ●プレミアム眼内レンズ(多焦点眼内レンズ) ●眼内コンタクトレンズ(ICL アイシーエル) ●オルソケラトロジー「無料説明会」開催中。予約不要
ご興味のある方はこの機会に是非ご家族やお友達と一緒にご参加ください。

(毎月・土曜日) 午前 10:00~ (1時間)

11月2日・12月7日・1月11日・2月1日・3月7日・4月4日